

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名					公表日	令和8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	23		・こどもの姿・活動に応じて個別又はグループに分かれて落ち着いて過ごせるよう工夫しています。	戸外での活動について、こどもの姿に合わせ、園庭以外にも散歩や近隣の公園での活動を積極的に取り入れるよう努めます。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	23		・こどもの出席状況に合わせた配置をしている。職員の不足は事前に把握し、他のクラスと連携を図って対応している。	運営規定上の職員の配置を満たしておりますが、こどもの特性に合わせた支援が必要な場面において、フォローできるような人員の配置を配慮します。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	23		・こどもの発達に合わせ、絵カード・写真カード・スケジュール等を使い視覚的に分かりやすい環境を作っています。ロッカー・下駄箱などマークを付けたり、注目しやすいよう区切りを利用したり、興味もてる方法で安心して過ごせるよう工夫しています。	こどもの状態に合わせ必要な環境調整を行ったり、収納スペースの確保など収納等の工夫をし、安全に過ごせるよう努めます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	23		・毎日、清掃や消毒、整理整頓を行い心地よい環境を作っています。 ・こどもに合わせて、机や椅子、室内の環境を整えています。	・今後も、こどもの視点で過ごしやすい環境、安全な環境作りを努めていきます。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	23		・療育室があり、必要に応じて利用できるようになっています。	・療育室で落ち着き安心して過ごせるような環境をつくるよう努めていきます。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	23		・定期的にクラスの話し合いや事例検討等を行い、支援の振り返りや今後の支援につなげるようにしています。※クラス職員は全員参加	・日々の振り返りやミーティングなど、情報を共有する機会を設けていきます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23		・保護者向け評価表は、1年に1度書面でご意見を伺う機会としており、業務改善につなげています。	・ご意見をいただき、改善したことは分かりやすく伝えていくよう努めていきます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23		・常に情報の収集、共有に努め、毎月の会議や研修時に職員全員で検討し業務改善につなげるようにしています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		23	・第三者評価の外部評価は行っておりません。県や市による行政監査で受けた指摘や指導を改善につなげています。	・第三者評価の外部評価について、来年度の予定はありません。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	23		・他の施設での研修、実習に参加しています。 ・令和7年度は「愛着障害について」「応用行動分析 (ABA) 基礎研修」「障害児のきょうだい児支援について」「障害児施設における虐待防止について」等の研修を行いました。	・引き続き、職員の質の向上に努め、研修の開催、積極的な研修参加ができるようにします。	
その他	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23		・HPに公表しています。	・適宜見直しを図り、より良い支援が行えるよう支援プログラムの作成に努めていきます。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	23		・アセスメントから課題をくみ取り、専門職からの助言や発達検査の結果など参考に、職員間の話し合い計画を立てています。	・引き続き、適切なアセスメントを丁寧に行い、モニタリングを行う中で、こどもと保護者のニーズをくみ取り、支援計画を作成していきます。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23		・一度作成した計画書を読み合わせ、職員で再検討し立案しています。	・引き続き、多角的視点で作成できるよう努めていきます。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	23		・担任間で個別の支援方法を共通理解し、計画に沿った支援を行っています。	・今後もこどもの姿を確認しながら、個別支援計画をもとにより良い支援が行われるよう努めていきます。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	22		1	・標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントの実施と共に、様々な職員からの声を聞き取り毎日の記録をし、適応行動の状況を確認しています。	・引き続き職員間で確認を行います。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに基づき、5領域の総合的支援の提供を行っています。 ・個々の発達や姿に合わせ、生活面や遊びについての短期目標、長期目標を立て、見直ししながら設定しています。 ・職員間で具体的な内容を検討しながら、共通理解のもと支援内容を設定しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに基づき、提供すべき支援を適切に選択し、具体的な支援内容を設定するよう努めます。また、各支援に関する内容の充実を図っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・前月の振り返り、専門職の助言を取り入れながらクラス担任で話し合い立案しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、専門職の助言を取り入れながら、より良い活動が行えるよう努めていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・季節やこどもの様子に合わせた活動を取り入れています。 ・専門職からの助言をとり入れ、活動内容を工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、活動が固定化しないよう、職員で話し合いながら計画していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動として、着脱、排泄、食事等、身辺自立に向けた支援計画を作成しています。 ・集団活動して、遊びの中で順番ややり取り等、スキルが身につくよう計画しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝礼にて、当日の打ち合わせや役割分担の確認を行っています。また、時差出勤の職員にも伝達をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、チーム連携を心掛け、打ち合わせ、引継ぎ、役割分担を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後には、当日の活動の振り返りや気づいたことの情報共有を図り、翌日の活動につなげています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、活動を振り返り翌日以降の活動に反映し改善できるよう努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・日々のこどもの姿を記録しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、支援の検証、改善につなげるよう努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの姿を保護者と共有しながら、モニタリングを行い、個別支援計画作成及び保護者支援につなげています。 ・適切に個別支援計画の見直しを行い、保護者と確認しながら支援目標を定めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとのモニタリングの他、必要に応じてモニタリングを行い、支援計画を修正していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・ケースに応じて必要な職員が参加しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きケースに応じて必要な職員が参加していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて必要な関係機関と連携が取れる体制を整えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係機関との協力体制のもと、お子さんの支援に努めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育園や小学校での体験や交流、支援学校の見学などの機会を設けています。 ・並行利用しているお子さんについては、保護者の方の同意を得たうえで、支援内容等の情報共有を行い相互理解を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんにとってより良い支援が提供できるよう努めます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな移行ができるよう、保護者の同意を得た上で、支援内容の共有を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き関係機関との情報共有に努めていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村の児童発達支援センターとの連携を図り、施設実習の実施や研修等に参加しています。 ・地域全体の質の向上を目指し、市内事業所との情報交換会や研修の実施を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き関係機関との連携、地域の事業所との連携を図り、質の向上に努めていきます。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・言語療法士、理学療法士、作業療法士等の専門職職員とのケース検討会議や学習会をおこなったり、支援者向けの研修を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、専門職との連携を図り、質の向上に努めます。 ・支援者向け学習会の内容を検討し、計画、実施していけるよう努めます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・代表者が参加しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども部会や地域の子ども・子育て会議等にて、他機関の現状把握を心がけ、障害福祉における体制整備に努めます。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	23		・市内公立保育園との交流保育を定期的に行い、地域のこどもとの交流を行っています。	・保育園との連携を図り、交流保育を続けていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	23		・連絡帳、送迎時の伝達、面談等でこどもの様子を伝えたり、家庭との情報の共有を図っています。 ・年に2回の「親子で遊ぼう会」やその他の行事等に参加していただき、こどもの姿を知る機会を設けています。	・引き続き、保護者との共通理解を図れるよう努めていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	23		・保護者向け学習会の中で、こどもの理解を深め、関わり方を学ぶ機会としています。	・保護者へのアンケート調査を行い、保護者の意見を反映した研修の計画に努めます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	23		・入園児に必ず説明をした上で、保護者より同意を得ています。	・丁寧な説明を心がけ、安心して利用していただけるよう努めていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	23		・保護者の方に日頃のお子さんの様子を観察していただきながら、どのような支援を行っているのか、現在の課題などを説明し、面接にて意向を確認し「児童発達支援計画」を作成しています。	・引き続き、丁寧な説明を心がけ、こどもの最善の利益の保障に努めます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	23		・保護者の方への支援内容の説明を支、同意を得た上で実施しています。	・ご家庭でのお子さんの様子や療育に対する保護者の方のご意見を伺いながら説明をし、同意が得られるよう努めます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	23		・個別面談を年2回受け、保護者の方の相談に応じています。また、保護者の方からの悩み等相談があった場合は、その都度対応しています。	・送迎時や連絡帳、電話等の相談も随時応じていくよう努めます。 ・今後も保護者が相談しやすい環境作りを目指し、適切な支援ができるよう努めていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	23		・保護者会、茶話会、OB会等の参加を支援しています。 ・きょうだい児の支援について職員研修を行い、今後の計画に活かせるようにしました。	・きょうだい支援として、園の行事への参加など検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	23		・相談には瘦躯対応しています。担任、児童発達支援管理責任者、園長が話を聞き、必要に応じて外部機関との連携を図っています。	・引き続き、相談の申し入れに対し、迅速かつ適切な対応に努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	23		・定例の園だより、行事の案内を配布しています。また活動の様子が分かるよう、写真を掲示しています。 ・感染症情報を掲示しています。 ・緊急時の対応として「きずなネット」の登録をしていただき、情報発信しています。	・毎年入園式において、連絡事項により様々な連絡方法があることをお知らせしていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	23		・個人情報は鍵のかかる書庫に保管しています。 ・行事の際には、保護者が撮影した画像や映像の扱いに留意してもらうよう伝えていきます。 ・個人情報やセキュリティーの取扱いに関する研修を受けています。	・引き続き個人情報の地理扱いに十分注意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	23		・写真や絵カード、タイマー等使い、一人一人の障害や特性に合った支援を行っています。 ・保護者対応、支援については、その保護者ごとに適切な伝達方法で行っています。	・お子さんとのコミュニケーションの中で、より有効的な方法を探し、一人一人に合った意思疎通の手段を工夫していきます。 ・保護者の状況や状態に合わせ、配慮した伝達が行えるよう努めます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	12	・行事への招待は行っていないが、様々な機会において「知立市立ひまわり園」に事業内容を説明しています。 ・地域の公園に親子遠足を実施しました。	・引き続き、地域に開かれた事業運営ができるよう取り組んでいきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	23	1	・自然災害・火事・不審者対応等の訓練、災害発生時の保護者引き渡し訓練、嘔吐物処理・AED操作方法の確認を行っています。	・訓練ごとに振り返りを行い、対応の改善につなげていきます。 ・保護者に向けての周知ほうほうについて検討します。

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	23	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画（BCP）を策定しています。地震、火災、不審者対応等を想定した訓練を月に1回行っています。 ・市内防災訓練では、非常事態に備え、市全体の協力体制が取れるよう確認をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練ごとに振り返りを行い、対応の改善につなげていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	23	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時に「健康の記録」を記入してもらい、保育士、看護師、保健師が保護者から状況の聞き取りをしています。 ・投薬については、「薬連絡票」を提出していただき、対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、こどもの状況把握や適切な対応に努めていきます。 ・変更があった場合には、その都度対応できるよう保護者との連携を図っていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	23	<ul style="list-style-type: none"> ・「アレルギー疾患・生活管理指導票」（医師作成）を提出していただき、対応しています。 ・食事の際は、調理員、検食者、保育士等複数での確認を行なっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誤食のないよう、チェック体制を整えています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成しています。安全な環境のもと活動が実施できるよう、年間を見通し事前の研修や確認を行なっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年職員間で確認する機会を持ち、安全管理に関する職員の共通理解を図っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	23	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画についての取り組み内容を説明する機会を持ち、「引き渡し訓練」「感染症に対する対応」等にご協力いただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画について周知していただけるよう努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所園長会にて得たヒヤリハット事例の報告、活動の中でその都度気づいた点についての報告を行い情報の共有を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、改善や防止策についての話し合いを行なっていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	23	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止に関する研修、勉強会を行なっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、虐待防止に関する研修、勉強会の計画を立て、取り組んでいきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	23	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず身体拘束を行う場合には、組織的に決定をし、保護者に事前の説明をした上で同意していただき、児童発達支援計画に記載しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な見直しを行い、職員の意識の向上に努めていきます。 	